

平成 21 年度 北松西高等学校学校関係者評価 報告書

1 評価の実施期日 平成 22 年 2 月 24 日（水）

2 学校関係者評価の内容

(1) 自己評価の結果について

各評価項目・具体項目ごとに本年度の努力目標を踏まえた目標及び具体的方策が設定されている。達成状況についても妥当な評価である。

(2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善策について

生徒の適性に応じた進路指導について、評価委員から、就職状況が厳しくなる中で、「保護者がのんびりしている」等の意見や「就職することが厳しくなっていて、希望する企業のランクが下がったりしているのではないか」等の質問が出された。また、身近な人の成功体験談を聞く機会を設定したり、三重県立相可高校の食物調理科が取り組んでいる「まごの店」のような報道を生徒に伝えたりしてはどうかとの提案があった。

県が実施しているインターンシップ制度の活用や進路説明会・就職希望者向けの早朝及び長期休業中（夏期・冬期）の学習会等の本年度の取組状況を説明し、次年度も継続して実施する旨を伝えた。さらに、次年度の企業訪問については、新規の企業開拓を含め、早い時期に回数を増やした形での実施を検討中である。

(3) 学校の重点目標や自己評価の評価項目について

「努力目標や重点課題としてあげている学力に関する内容をさらに推し進めてほしい。就職するにせよ、進学するにせよ、またその先々でも必要なことである」や「自分達の時代は、就職希望者には補習等はなかった。現在は、就職希望者にも補習等の手立てが行われており、今後も続けてもらいたい」などの意見が出された。

(4) 学校運営の改善に向けた実際の取組について

連携型中高一貫教育に係る入学者選抜について、「学力検査がないから、子どもが勉強しないという不安が保護者にある」、「高校入試のための勉強ではなく、本来の意味での勉強をさせなければならない」、「現在の生徒達は学力検査なしで入学してきた生徒だが、進学及び就職での成果は上がっている。資格試験等があればもっと努力するのではないか」などの意見が出された。

検査方法の一つである「課題レポート」の作成について、本年度は中学校において高校教員による書き方に係る指導を実施した。次年度は検査方法の一つである「作文」について、小中高一貫教育に係る教科部会（国語）の取組として、小・中・高の作文指導を協議する予定である。

【総 評】

<p>評価の結果 (課題と問題点)</p>	<p>評価項目(4段階評価)の各平均は次のとおりである。</p> <p>(・教職員による自己評価 … 3.3 ・学校関係者評価 … 3.6) (・生徒アンケート … 3.1 ・保護者アンケート … 3.1)</p> <p>①学校経営及び教育活動全般については、一定の成果を上げていると判断できるが、重点課題として取り組んできた「授業への集中と家庭学習の習慣化」に係る項目「授業は工夫されてわかりやすい」、「毎日きちんと家庭学習する習慣が身に付いている」、「出された宿題はきちんと提出している」等においては、3年間で比較するかぎり、着実な成果を上げてはいるものの、目標とする数値までには達していない。</p> <p>(・「授業は工夫されてわかりやすい」 (生徒) H19:2.5 → H20:3.0 → H21:3.1 (保護者) H19:2.6 → H20:2.9 → H21:3.1 ・「毎日きちんと家庭学習する習慣が身に付いている」 (生徒) H19:2.2 → H20:2.4 → H21:2.8 (保護者) H19:2.6 → H20:2.9 → H21:2.9)</p> <p>次年度も本年度の重点課題を継続し、学力向上のための取組内容をさらに改善する必要がある。</p> <p>②「中高一貫教育による学力検査のない入試は、入学後十分役に立っている」の項目については、生徒及び保護者アンケートの結果から判断するに、さらに改善する必要がある。</p> <p>(・(生徒) H19:2.4 → H20:2.5 → H21:2.6) (・(保護者) H19:2.4 → H20:2.1 → H21:2.1)</p>
<p>来年度の改善点</p>	<p>①高校入学者選抜に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は検査方法の一つである「課題レポート」の作成について、次のような改善を図った。中学校での課題レポート等に係る入試説明会(9月下旬:生徒・保護者対象)後に、中学校において高校教員による書き方に係る指導を実施した。 ・次年度は検査方法の一つである「作文」について、小中高一貫教育の地区推進部会(国語部会)の取組として、作文に係る小・中・高の指導方法を協議する予定である。 <p>②進路指導(特に、就職活動)に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は県のインターンシップ制度等を活用し、現2年生の就職・専門学校を希望しているクラスの生徒全員(17名:15名は島外、2名が島内)が就業体験を行った。次年度も実施を予定している。 ・本年度は新規事業として、保護者及び生徒(1・2年)を対象とした進路説明会を1月下旬に実施した(保護者出席率:68.0%)。次年度は6月下旬に実施を予定している。 ・本年度は3年生の進学希望者に加え、就職希望者にも早朝学習会等を実施した。また、2年生の進学希望者に加え、就職希望者にも長期休業中(夏期・冬期)に学習会等を実施した。次年度も実施を予定している。 ・本年度は教員による企業訪問を2回実施した(5・8月に県内及び県外)。次年度は、新規の企業開拓を含め、もう少し早い時期に回数を増やした形での実施を検討中である。